

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

## I. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成16年7月9日

(2) 調査対象期間 平成16年4月～6月期実績および平成16年7月～9月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	21社	70.0%
建設業	30社	22社	73.3%
卸売業	30社	23社	76.7%
小売業	35社	20社	57.1%
サービス業	25社	21社	84.0%
合計	150社	107社	71.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## II . 概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

平成16年度第I四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」20.6、「悪化企業」49.5、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△28.9となっています。

このD・I値を前期調査<15年度第IV四半期>と比較してみると前回△48.7→今回△28.9と19.8ポイント好転、「好転企業」が10ポイント増加、「悪化企業」が10ポイント減少しており、前期調査との比較では大幅な改善傾向を示しています。また、前年同期比（△39.5）との比較でも、10.6ポイントと好転しており、徐々にではあるが回復傾向を示しています。

今回の業況を業種別で見ると製造業D・I値△19.1、建設業D・I値△9.1、卸売業D・I値△30.4、小売業D・I値△25.0、サービス業D・I値△61.9となっており、前年同期調査と比較すると製造業並びに建設業では改善が見られ、卸売業についてはほぼ同じ、他の業種については悪化傾向を示しており、全体的には改善傾向にあるものの依然として厳しい状況にあります。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」15.9%「悪化企業」50.5%でD・I値△34.6と、前年同期見通し（△50.4）に比べ15.8ポイント改善されたとおり、明るい兆しがみえる来期見通しとなっています。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

#### 1) 製 造 業

##### 生産高

前年比で「増加企業」19.1%、「減少企業」47.6%、D・I値△28.5と前年同期に比べ4.7ポイントの悪化、前期調査との比較では逆に14.5ポイント改善、前年同期の水準に近づいており回復傾向がうかがえます。

##### 採 算

前年比で「好転企業」14.3%、「悪化企業」47.6%、D・I値△33.3と前年同期に比べ14.2ポイントの悪化、また、前期調査との比較では14.2ポイント改善しており悪いながらも前年の水準に戻りつつあります。

##### 来期見通し

業況D・I値△47.7、生産高D・I値△52.4、資金繰りD・I値△42.9と、前年同期に比べ資金繰りD・I値はほぼ同じであるがそれ以外はすべてマイナスを示しています。また、前期調査との比較でもD・I値はすべてマイナスを示しており、暗い来期見通しとなっています。

#### 2) 建 設 業

##### 完成工事高

前年比で「増加企業」40.9%、「減少企業」40.9%、D・I値△0.0と前年同期に比べ66.7ポイントの大幅な改善傾向を示しており、前期調査との比較でも62.5ポイントの大幅な改善傾向を示しており、明るい兆しが見えてきているが全体的にはまだ、依然として暗い状況にあり厳しい

経営環境となっています。

採算

前年比で「好転企業」31.8%、「悪化企業」63.6%  
D・I値△31.8と前年同期に比べて26.5ポイントの大幅な改善傾向を示しており、前期調査との比較でも30.7ポイントの大幅な改善傾向を示しており、厳しい状況の中明るい兆しが見えてきています。

来期見通し

業況D・I値△27.2、完成工事高D・I値△40.9、  
資金繰りD・I値△45.4と前年同期と比べすべて改善傾向を示しており、前期調査との比較でもすべて改善傾向を示しており、ここにきて明るさの見える来期見通しとなっています。

### 3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」21.8%、「減少企業」47.8%、  
D・I値△26.0と前年同期と比べ4.5ポイントと小幅であるが改善傾向を示しており、また、前期調査との比較でも3.1ポイントの改善傾向を示しており、少しずつではあるが明るさの見えるの経済環境となってきています。

採算

前年比で「好転企業」13.0%、「悪化企業」52.2%、  
D・I値△39.2と前年同期に比べ8.7ポイント悪化傾向を示しており、また、前期調査との比較でも18.4ポイントと大幅な悪化傾向を示しており、売上高は改善されているものの採算は悪化傾向にあり暗い状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△8.7、売上高D・I値△13.1、資金繰りD・I値△13.0と前年同期に比べ資金繰りD・I値は小幅であるがそれ以外はすべて大幅な改善方向に向かっており、前期調査との比較でも資金繰りD・I値はマイナスだがそれ以外はすべて改善傾向を示しており明るい来期見通しとなっています。

### 4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」30.0%「減少企業」55.0%、  
D・I値△25.0と前年同期に比べ8.4ポイントと小幅であるが改善されており、前期調査との比較でも36.9ポイントと大幅な改善傾向を示しており、明るさは見えてきてはいるが、全体的に数値も高く厳しい経済環境となっています。

採算

前年比で「好転企業」25.0%「悪化企業」40.0%、  
D・I値△15.0と前年同期に比べ14.2ポイントと大幅な改善となっており、前期調査との比較でも42.2ポイントの大幅な改善傾向を示しており、売上高と同様に明るい兆しに見える経済環境となっています。

来期見通し

業況D・I値△25.0、売上高D・I値△25.0、資金

繰りD・I値△25.0と前年同期と比べすべて改善されており、前期調査との比較でもすべてのD・I値は大幅な改善傾向を示しており、明るさの見える来期見通しとなっています。

## 5) サービス業

### 売上高

前年比で「増加企業」9.5%、「減少企業」76.2%、D・I値△66.7と前年同期に比べ19.6ポイントと大幅な悪化傾向を示しており、前期調査との比較でも9.6ポイントの悪化傾向となっており、依然として数値は高い状況で推移していて、厳しい経済環境となってきました。

### 採算

前年比で「好転企業」14.3%、「悪化企業」66.7%、D・I値△52.4と前年同期とほぼ同じ状況。前期調査との比較では9.5ポイント改善されており売上高は厳しい状況にあるが、採算については小幅であるが改善されています。しかし、依然として数値は高く経済環境は厳しい状況にあります。

### 来期見通し

業況D・I値△66.6、売上高D・I値△71.4、資金繰りD・I値△47.7と前年同期に比べ資金繰りD・I値以外は悪化傾向を示しており、前期調査との比較でもほぼ同じ状況にあり、来期見通しについては一部明るさが見えるものの依然として厳しい来期見通しとなっています。

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	資 金 調 達 困 難
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
小 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売 掛 金 回 収 難
サービ業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
合 計	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 件 費 増	売 掛 金 回 収 難

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。